



いしぐる りん
石黒 梨 議員(八雲高等学校2年)

①歩道の排除雪 ②林業による電気の発電(バイオマス電気)

①八雲町の除雪はきれいにされていると思いますが、登校時間と除雪が重なると車道を歩くことになり危険です。小学生が多く通る道路を優先的に除排雪することはできませんか。

答弁)町長

町内の市街地における除雪作業は、人や車の活動が多くなる通勤・通学時間帯までには除雪作業を終了するように、安全を優先して作業を行うこととしています。しかし、その除雪作業の出動判断は、町内をパトロールして降雪状況を確認し、夜中の2～3時に判断しており、その時間以降の降雪や降雪量が多い場合には、除雪作業が遅くなったり、対応が難しくなったりする場合があります。ご理解していただきたいと思います。現在、八雲町の除雪作業の方法としても、小学校・中学校の通学路路線を優先するように除排雪作業を行っておりますが、先ほども申し上げましたとおり、降雪の時間や降雪量の状況によっては、対応が十分でないこともあります。石黒議員がご指摘の当該箇所の除排雪を含め、道路交通の安全を確保するよう、作業方法や除雪体制など工夫・改善をして、できる限りの対応をしてみたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

②八雲町の林業をバイオマス発電に活用することで、電気料金の削減ができ、住民サービスを充実することができます。町の活性化のために林業によるバイオマス発電を検討できませんか。

答弁)町長

町には、木質バイオマスを含め、家畜ふん尿、太陽光、地熱、水力など、二酸化炭素を排出しないで活用できるエネルギーの可能性がります。二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて世界各国が取り組みを加速化している中、八雲町としてもカーボンニュートラルに貢献するため、再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組んでおります。議員ご質問のとおり、町民が利用する電気料金を削減できるなど、発電することで得られる利益をさまざまな形で地域へ還元することも考えられることから、再生可能エネルギーの導入や関連した取り組みについて促進してまいります。

ゆめ議会の感想

今回やくも少年少女ゆめ議会に参加して、改めて八雲町について考え、多くのことを学ぶことができました。議会に参加したからこそ知ることができたと思い、とても良い経験になりました。さらに、この経験を通して私は、八雲の現状を知ること、そして八雲町の活性化について考えることがとても大切なことだと思いました。



ともゆき
デサージョアンオ 和幸 議員(八雲高等学校1年)

町内の清掃について

町内にゴミが捨てられているのを度々見ます。八雲高校では年2回ゴミ拾いのボランティアを行っています。町主導での清掃活動を行うことはできませんか。

答弁)町長

ごみのポイ捨てなど不法投棄の問題は、八雲町のみならず、すべてのまちの課題となっております。八雲町における清掃美化活動としては、ごみ拾い活動に取り組む団体に対して、有料のごみ袋を無償で提供しており、令和3年度は町内会や学校などの29団体に活用していただいております。また、八雲衛生協会という団体では、八雲墓地のごみ拾いを定期的に行ったり、ごみのポイ捨て禁止キャンペーンを大型スーパーの前で、啓発活動に取り組んでくださっております。町としては、広報やくもを通じて、ごみ袋の無償提供の制度を改めて周知するとともに、八雲町主導の取り組みとして新たに、近々、世界的にも問題となっているプラスチックごみ等を含む、海岸漂着物の広範囲な清掃を、町が主導となって北海道、JR、漁協関係者やボランティア等の協力を得て取り組む計画をしております。

ゆめ議会の感想

僕は、今回ゆめ議会に参加して貴重な体験をさせていただき、色々なことを感じることができました。まず、議場の雰囲気です。以前から議場という場合は、厳肅な雰囲気なんだろうとは思っていましたが、実際に議場に入り、議員席に座ってみると内装の厳かさや見える議場の景色によって厳肅な雰囲気にプラスして緊張感があると感じました。次に、町や地域の問題についてです。僕も高校生になり、選挙権も18歳から持つようになるため、町や地域などの問題を自分から遠いものと考えず、近いものと捉えて考えていく必要があるなと感じました。